



環境経営レポート2018

2018年7月1日～2019年6月30日
-事業年度 第51期-

2019年7月16日発行

広島の建物の“健康”を支える
 八洲管理株式会社

1. 環境経営方針	...	P2
2. 組織の概要・実施体制	...	P3~4
3. 環境経営目標	...	P5
4. 環境経営目標の実績・評価	...	P6
5. 環境経営計画の取組結果・評価	...	P7~8
6. 次年度の環境経営計画	...	P9
7. 代表者の全体評価と見直し・指示と 法令遵守状況等	...	P10
8. 各現場における環境活動	...	P11

環境経営方針

八洲管理株式会社はビルメンテナンス事業の柱である清掃業務・設備管理業務及び警備業務において、全従業員が一丸となってエコアクション21の活動を通じて積極的に環境への取組を推進し、「暮らしやすい」社会の実現に貢献する企業として存続・進化し続けます。

1. 企業活動について、環境負荷の低減と経営を両立させ、取り組みを通じ全従業員が自ら考え自ら行動する企業風土を醸成し、活動をスパイラルアップさせます。
2. 地球温暖化への対応のために、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
(電力消費量及び業務車両・機器燃料)
3. 循環型社会への対応のために、廃棄物発生量の削減およびリサイクルに努めます。
4. 水資源を有効に活用するために、水使用量の削減に努めます。
5. 環境に配慮した製品を優先的に選定し、化学物質使用量の削減に努めます。
6. 環境に配慮した省資源・省エネルギーを推進する提案商材を作ります。
7. 地域美化活動やボランティアに、積極的に参加します。
8. 環境関連法令、条例や規制等の要求事項を遵守し、環境保全に努めます。
9. 環境経営方針に関する教育を全社員に対して行います。

制定日：2018年11月30日

八洲管理株式会社
代表取締役社長

佐藤 秀雄

弊社は環境省エコアクション21 CO2削減プログラム(Eco-CRIP)補助事業を通じ、2018年11月30日に環境経営方針を制定しました。

2. 組織の概要・実施体制

1. 会社名

やしまかんり
八洲管理株式会社

2. 代表者名

代表取締役社長 佐藤 秀雄

3. 所在地

〒733-0032 広島県広島市西区東観音町19-1 タルタビル2F

4. 環境管理関係者の連絡先

環境管理責任者 : 松木 光法 (業務部 部長)

環境事務局担当 : 高野 隆史 (業務部)

連絡先 : TEL 082-232-7871、FAX 082-232-7872

5. 主な事業内容

ビルメンテナンス業(清掃・設備管理)、警備業



日常清掃



高圧スピンショット洗浄



貯水槽清掃消毒作業



高所ロープ作業(硝子清掃)



エアコン分解洗浄



設備各種点検



設備運転管理



施設警備



駐車場管理



排水管高圧洗浄

2. 組織の概要・実施体制

6. 事業の規模

売上高 : 281百万円 (第50期・2018(平成30)年6月)
従業員数 : 54人 (常勤従業員数に換算した人数)
延べ床面積 : 141m²

※総従業員数および延床面積内訳

	本社	清掃現場	設備現場	警備現場	その他	合計
従業員(人)	12	18	15	8	1	54
延べ床面積(m ²)	141	---	---	---	---	141

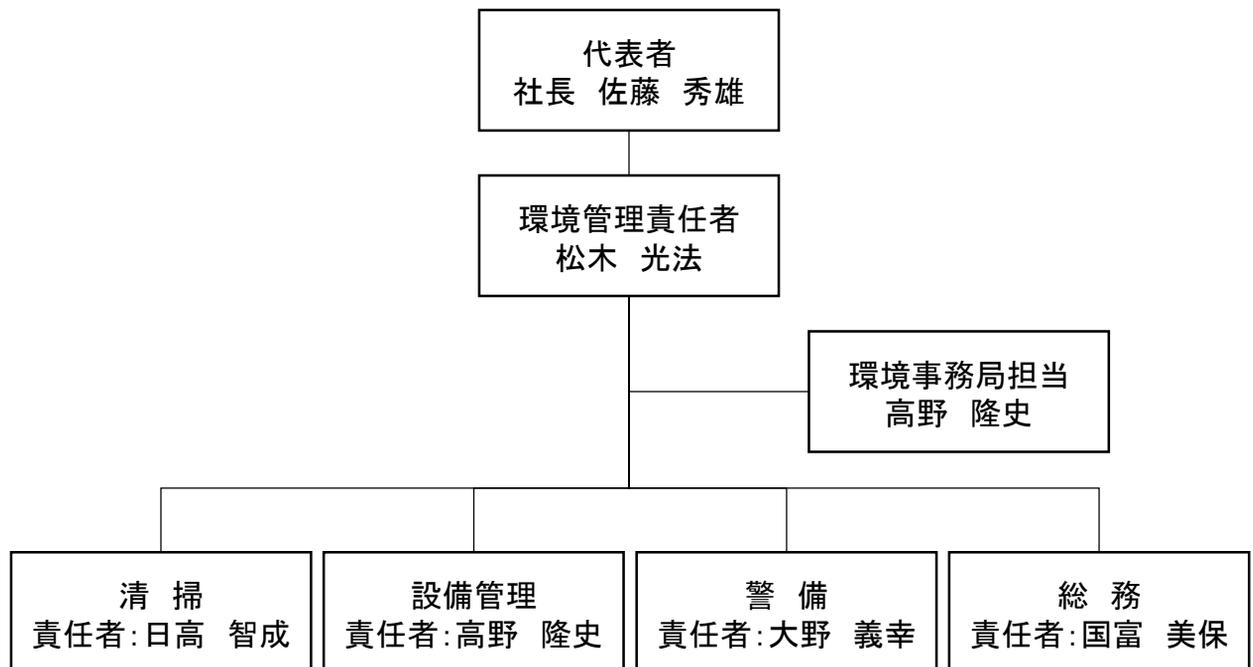
7. 事業年度

7月～翌年6月

8. 認証の対象組織・活動

対象事業所 : 本社事務所
対象活動 : 上記5のとおり

9. 実施体制



10. 加盟団体

 公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会
Japan Building Maintenance Association

 公益社団法人 広島ビルメンテナンス協会

 広島県ビルメンテナンス協同組合

 一般社団法人 全国警備業協会
All Japan Security Service Association

 一般社団法人 広島県警備業協会

3. 環境経営目標

基準に対する第51期および第52期、第53期の環境経営目標は下表のとおりに決定しました。第51期(2018.7~2019.6)との比較のため、第50期(2017.7~2018.6)の環境負荷を基準としました。また未測定の項目は第51期を実態調査期間に置き、これを基準とします。

No.	項 目 【基準:第50期】(2017.7~2018.6)	【第51期】 (2018.7~2019.6)	【第52期】 (2019.7~2020.6)	【第53期】 (2020.7~2021.6)
I	二酸化炭素排出量の削減 【第50期】 18,747Kg-CO2	18,562Kg-CO2	18,392Kg-CO2	18,183Kg-CO2
	電力使用量の削減 【第50期】 4,154Kg-CO2 5,986KWh	4,113Kg-CO2 5,926KWh	4,092Kg-CO2 5,896KWh	4,029Kg-CO2 5,806KWh
	ガソリン使用量の削減 【第50期】 12,187Kg-CO2 5,249L	12,066Kg-CO2 5,197L	11,943Kg-CO2 5,144L	11,820Kg-CO2 5,091L
	軽油使用量の削減 【第50期】 2,406Kg-CO2 931L	2,383Kg-CO2 922L	2,357Kg-CO2 912L	2,334Kg-CO2 903L
II	廃棄物の削減			
	一般廃棄物の削減 【第50期】 記録なし	実態調査	51期比△1%	51期比△2%
	産業廃棄物の削減 【第50期】 記録なし	実態調査	51期比△1%	51期比△2%
III	水道水使用量の削減 【第50期】 122m ³	122m ³ 以下	122m ³ 以下	122m ³ 以下
IV	化学物質使用量の削減 【第50期】 6Kg (PRTR該当物質)	5.5Kg	0Kg	0Kg
V	グリーン商品購入の推進 【第50期】 記録なし	100%	100%	100%
VI	環境性能の向上・サービスの改善 【第50期】 記録なし	1件	2件	3件
VII	地域社会に向けた環境啓発活動 【第50期】 2件	3件	3件	3件

注1:電気の二酸化炭素排出量は、中国電力株の2016年度実績 0.694 kg-CO2/kwh により算出した。

注2:水については使用量自体が少量であり、削減が困難であるため現状維持を目標とする。

4. 環境経営目標の実績・評価

今期の環境経営目標値に対する実績と評価は下表の通りとなります。

No.	項目	目標値	実績	評価
I	二酸化炭素排出量の削減	18,562Kg-CO2	20,084Kg-CO2	×
	電力使用量の削減	4,113Kg-CO2	4,179Kg-CO2	×
		5,926KWh	6,022KWh	
	ガソリン使用量の削減	12,066Kg-CO2	13,154Kg-CO2	×
5,197L		5,666L		
	軽油使用量の削減	2,383Kg-CO2	2,751Kg-CO2	×
		922L	1,064L	
II	廃棄物の削減			
	一般廃棄物の削減	実態調査	374Kg	—
	産業廃棄物の削減	実態調査	34Kg	—
III	水道水使用量の削減	122m ³ 以下	117m ³	○
IV	化学物質使用量の削減 (PRTR法該当物質)	5.5Kg	5Kg	○
V	グリーン商品購入の推進	100%	100%	○
VI	環境性能の向上・サービスの改善	1件	1件	○
VII	地域社会に向けた環境啓発活動	3件	3件	○

※1 廃棄物の実績は、2018年12月から2019年6月の実績から年間排出量に換算した。

5. 環境経営計画の取組結果・評価 環境活動レポート2018



環境活動の取組み内容とそれぞれの取組みに対する評価(継続/完了/未着手)、及び総括は下表の通りとなります。

No.	取組内容	結果の評価
I	二酸化炭素排出量の削減	
	電力使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の適正管理 ・サーキュレーターの設置 ・休憩時間の不要照明の消灯 ・コピー機の省エネ設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の適正管理 継続 ・サーキュレーターの設置 未着手 ・休憩時間の不要照明の消灯 継続 ・コピー機の省エネ設定 完了 ・不要なアイドルングストップ 継続 ・急加速、急停車の防止 継続 ・効率的な移動 未着手
	ガソリン・軽油使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・不要なアイドルングストップ ・急加速、急停車の防止 ・効率的な移動 	<p>【総括】二酸化炭素排出量の削減は、目標未達成となった。運用開始してからは効果があったが、夏季の猛暑のため、年間ではマイナスとなった。</p> <p>燃料増加については、期中での業務量増加に伴い軽自動車の購入や移動距離の大幅増加で使用量増加の要因となった。11月以降、社員へのエコドライブの意識付けを月次会議で行い、社員一人ひとりが高い意識のもと取り組むことができた。</p>
II	廃棄物の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・分別によるリサイクルの推進 ・素材ボックスの設置 ・保管場所へ掲示板設置 ・ミスコピーの防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・分別によるリサイクルの推進 継続 ・素材ボックスの設置 完了 ・保管場所へ掲示板設置 完了 ・ミスコピーの防止 継続 <p>【総括】ごみ保管場所・容器の設置や掲示板を設置して、分別に対する意識付けを徹底した。また、ごみ収集日には事務所社員全員が分別・計量に参加することで廃棄物削減に対する関心が高まった。</p>
III	水道水使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・節水の周知徹底 ・節水シールの貼付けとポスター掲示 ・清掃時、手洗い時の節水 	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の周知徹底 継続 ・節水シールの貼付けとポスター掲示 未着手 ・清掃時、手洗い時の節水 継続 <p>【総括】水道水の使用料は、4%の削減となった。月次会議等で節水の呼び掛けと啓蒙活動を行うことで社員への意識付けが図られ、定着できたものと評価する。</p>
IV	化学物質使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した化学物質を選定する(PRTR法非該当物質) 	<p>新洗剤等購入時に事前にSDSを取り寄せて社内で検討することで、PRTR法該当物質以外の商品を購入したために、前年から17%削減することができた。</p>
V	グリーン商品の購入推進 <ul style="list-style-type: none"> ・事務用機器の購入時、グリーン購入法対象機器を選定する。 	<p>事務用機器を中心に、グリーン購入法対象の商品を購入した。</p>

5. 環境経営計画の取組結果・評価



No.	取組内容	結果の評価
VI	環境性能の向上・サービスの改善 ・環境に配慮した商品や製品(LED器具等)を積極的に提案して省エネの推進を図る	管理する運動施設及び公共施設に対し、照明器具のLED化を提案し、受注した。
VII	地域社会に向けた環境啓発活動 ・ごみゼロクリーンウォーク等への積極的な参加	ごみゼロウォークをはじめとして、3件の地域貢献活動に参加したものの参加人数は少数に止まった。

6. 次年度の環境経営計画

第51期の環境活動の取組み内容と結果の評価を踏まえ、次期への取組み内容を下表の通りとします。

No.	取組内容	次年度への取組み
I	二酸化炭素排出量の削減	
	電力使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の適正管理 (冷房28℃暖房20℃) ・サーキュレーターの設置 ・不要照明の消灯 ガソリン・軽油使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・不要なアイドリングストップ ・急加速・急停車の防止 ・効率的な移動 	<p>運用開始からは、前年同時期の使用量を下回っていたので引き続き取組みを継続する。未着手に終わったサーキュレーターの設置は速やかに設置する予定。</p> <p>車両の増加および遠方での業務が増え、使用量が著しく増加した事を踏まえて今年度の実績を新たな基準として設定した。次年度への取組みとして引き続きアイドリングストップや急加速急停車の防止に加え、同一地域での業務は極力同日実施することで、移動距離を削減していく。</p>
II	廃棄物の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・分別によるリサイクルの推進 ・ミスコピーの防止 ・裏紙の使用 ・リサイクル率の向上 	<p>さらなる意識の向上により、リサイクル可能な資源ごみ分別を徹底することで一般廃棄物を削減していく。</p> <p>産業廃棄物は保管数量の確認と、マニフェストの管理を徹底する。</p>
III	水道水使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・節水の周知徹底 ・節水シールの貼付けとポスター掲示 ・清掃時・手洗い時の節水 	<p>水使用量の絶対量が少なく、大幅な削減は見込めないものの一人ひとりが意識して節水に努める。</p> <p>今期末着手に終わった節水シールとポスター掲示は早急に着手する。</p>
IV	化学物質使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した化学物質を選定する (PRTR法非該当物質) 	<p>上半期中に環境に配慮した洗剤などを選定し、PRTR法非該当物質のみ使用する。</p>
V	グリーン商品の購入推進 <ul style="list-style-type: none"> ・事務用機器の購入時、グリーン購入法対象機器を選定する。 	<p>引き続き事務用機器の購入時、グリーン購入法対象機器を選定する。</p>
VI	環境性能の向上・サービスの改善 <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した商品や製品 (LED器具等) を積極的に提案して省エネの推進 	<p>引き続き、お客様へ省エネ対応機器への取り換え工事を提案していく。また、お客様の経済的負担が少なく、且つ現場で継続的に取り組みやすい省エネ活動をお客様と協同で取り組んでいく。</p>
VII	地域社会に向けた環境啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみゼロクリーンウォーク等への積極的な参加 	<p>現在の活動参加を継続しつつ、社員の参加率の向上を図る。</p>



■代表者による全体評価と見直し・指示

環境省のCO2削減プログラム(Eco-CRIP)から取り組みをスタートして以降、従業員の環境に対する意識が徐々に高まっていった。意識の高まりが社員同士のコミュニケーションを活発にし、風通しのよい企業風土の素地ができた事が、今年度の最大の成果であるといえる。

環境経営方針及び環境目標、計画については、新たに自動車を購入したことでガソリン使用量が増加したため、今年度の実績値を新たな基準値とした。取り組み内容にはまだまだ推進の余地が十分にあるため、引き続き改善に向けて取り組むこととする。

将来的に、本社事務所での活動の中で各サイトでも取り組むことのできる活動は、お客様(オーナー)の理解を得たうえで積極的に取り入れ活動の輪を広げ、会社全体としてさらに環境負荷の軽減に努めていきたい。そのために本社に勤務する従業員には各サイトの現状を把握し環境経営システムを水平展開し、本社と各サイト間における画一的なコミュニケーション機会の創出を図ることを期待する。

2019年7月16日

八洲管理株式会社

代表取締役社長 佐藤 秀雄

■関連法規の遵守状況

<適用される主な環境関連法規制>

廃棄物処理法・ビル管法・フロン排出抑制法・化学物質管理促進法(PRTR法)

<遵守状況結果>

環境関連法規などの遵守状況の定期評価の結果、環境関連法規制等の逸脱はありませんでした。

■問題点の是正処置及び予防処置の結果

<処置結果>

今年度の活動において問題点は認められませんでした。

8. 各現場における環境活動



■グリーンカーテン

見た目にも涼しく、
収穫したゴーヤは現地職員にも
ご好評を頂いています。



■照明器具のLED化

省電力化はもちろん、高所部の管球の
交換作業頻度が下がるため、
安全面からもLED化を推進していきます。



■地域ボランティア活動への積極的な参加



地域の人々と交流を
深めながら、
キレイな広島を目指します。

(2019.6 ゴミゼロクリーンウォーク)